

第5回

ヤング・サイエンティスト・シンポジウム

～がん治療薬開発に必要なBio-infrastructure とは～

主催：国立がん研究センター/同中央病院「日本医療研究開発機構医療技術実用化総合促進事業」
米国研究製薬工業協会(PhRMA)

ヤング・サイエンティスト・シンポジウムは、米国研究製薬工業協会(PhRMA)が実施する創薬分野の人材育成プログラムの一つです。第5回目となる今回は、国立がん研究センターとの共催で開催致します。

第1回目からの「産・官・学それぞれの視点から若手研究者にトランスレーショナルリサーチ(TR)の重要性を伝える」という基本路線を踏襲し、今回は国内のがん研究に関わる産官学の若手研究者の皆さんに、ここ数年目覚ましい発展を遂げているオンコロジー分野のTRについてディスカッションする機会を提供し、研究意欲のさらなる向上と創薬分野で世界的に活躍できる人材育成に繋げることを目的としています。

2017年11月26日(日) 13:00-18:00

参加無料
事前登録制
(先着200名)

国立がん研究センター 築地キャンパス
研究所棟 大会議室・セミナー A/B

詳細・参加お申込みはこちら

<http://yss.umin.jp>



第1部：講演

〈モデレーター〉加藤 健(国立がん研究センター中央病院 バイオバンク・トランスレーショナルリサーチ支援室 室長)
中村 健一(国立がん研究センター中央病院 研究企画推進部 部長 /JCOG 運営事務局長)

13:00～14:40 講演

「産学連携による臨床開発の促進の事例：MASTER KEY Project とは？」

米盛 勲(国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)

「日本における創薬支援」

河野 典厚(日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部長 創薬戦略部長) ほか 2 講演

第2部：ワークショップ/パネルディスカッション

14:55～16:15 第一部演者と参加者の皆様を交えたディスカッション

「“基礎研究”と“臨床応用”を繋げるために・・・若手(基礎)研究者からの提言」

「若手研究者がモチベーションを維持するために必要なこと」 など

第3部：総括

16:30～18:00 議論のまとめ

★シンポジウム終了後、懇親会を開催します

お問い合わせ先 第5回ヤング・サイエンティスト・シンポジウム事務局
株式会社ジャパン・カウンセラーズ内
TEL: 03-3291-0118 E-mail: yss@jc-inc.co.jp



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

